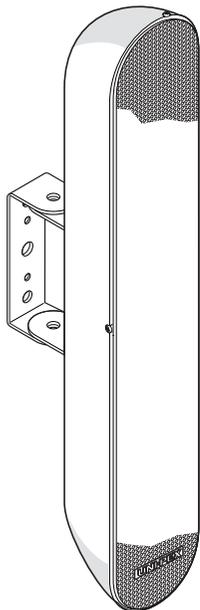


### 取扱説明書 (保証書付)

See page 17 through 32 for English Instructions.



このたびは、ラインアレイスピーカーをお買い上げいただき誠にありがとうございました。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

- スピーカーを取付けの際は、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取付工事に関する説明をよくお読みの上、正しくお取付、配線をおこなってください。
- この取扱説明書はお読みになったあとは、必ず保存してください。

工事業者様へ・・・設置工事終了後、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

### 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する**  
煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、販売店などにご連絡ください。



**工事は工事店に依頼する**  
また、高所作業は資格者がおこなってください。工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



**分解／改造はしない**  
火災の原因となります。修理や点検は、工事店などにご依頼ください。



**重量に耐える場所に取り付ける**  
取付場所の強度が不十分なとき、落下したりしてけがや破損の原因となることがあります。



**ねじや固定機構は標準締め付けトルク※<sup>1</sup>で締め付ける**  
落下などの事故の原因となります。また、ねじの掛かり代を充分に確保し、ねじロックなどゆるみ防止策を施してください。



**定期点検を実施する**  
専門の業者（技術者）による定期点検を実施し取り付け状態を確認してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



**落下防止対策を施す**  
万一の落下によりけがの原因となります。設置状況に合った落下防止策を施してください。



**配線は正しくおこなう**  
ショートや、誤配線により火災の原因となります。



**水・湿気・湯気・ほこりなどの多い場所に設置しない**  
火災・感電・故障・破損の原因となることがあります。



**油の付着しやすい場所に設置しない**  
取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。



**可燃性ガス中で使用しない**  
爆発する恐れがあります。



**塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない**  
取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。



**振動する場所に取り付けない**  
振動で金具が破損し、落下によりけがの原因となります。



**過大入力を加えない、長時間音が歪んだ状態で使わない**  
火災やけがの原因となります。



※<sup>1</sup> 標準締め付けトルクについて不明な場合は、弊社ホームページ(<http://www.unipex.co.jp/>)に掲載の「標準締め付けトルク」一覧表をご覧ください。

 <b>警告</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
<b>機器の上に水の入った容器などを置かない</b> 水などが中に入った場合、火災やけがの原因となります。	
<b>スピーカーに異常があったら放置しない</b> 長期にわたって放置すると各部の劣化が進み、落下など事故の原因となります。	
<b>燃えやすい場所に設置しない</b> 火災の原因となります。	
<b>ケーブル類は引っ張らない</b> 火災や感電の原因となります。	
<b>スピーカーの前面に人がいない事を確認する</b> 突然大きな音を出すと、けがや事故の原因となります。	
<b>スタンドを使用するときは転倒防止を施す</b> スピーカースタンドが転倒した場合、けがの原因となります。	

 <b>注意</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
<b>通行などの障害となる場所には設置しない</b> 引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。	
<b>この機器に乗ったり、ぶらさがったりしない、足場代わりにしない</b> 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
<b>配線は、アンプの電源を切っておこなう</b> 感電の原因となることがあります。	
<b>磁気テープなどを近づけない</b> フロッピーディスクやテープなどの情報が消えます。	
<b>金属エッジで手をこすらない</b> けがの原因となります。	
<b>不安定な場所に置かない</b> 落下など事故の原因となります。	
<b>廃棄は専門業者に依頼する</b> 燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。	

# 免責事項について

---

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤取付場所の強度不十分、取付工事の不備など、本製品の不良・不具合以外の理由による落下などによる不便・損害・被害

## お願い

---

### ●本機を高所に取り付けて設置する場合

本機を安全に使用していただくために、1年に1回をめやすに、販売店または工事業者による点検をおすすめします。

- ・落下による事故を未然に防ぐため、下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①取付ねじが緩んだり、外れたりしている。
- ②取付部が不安定になっていたり、傾いたりしている。
- ③本機及び取付部が破損したり、腐食したりしている。
- ④本機を使用しないで放置している。

### ●本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

- ・外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②接続コード・コネクタ・プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④アンプの電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

## 使用上のご注意

- AS-20Hは入力インピーダンス切換スイッチ付です。ロー20W(8Ω)とハイ500Ω(20W)、670Ω(15W)、1kΩ(10W)に切り換えて使用していただけます。
- 次のような信号や過大入力時には、アンプのボリュームを下げてください。
  - ハウリング音 ○電源スイッチのON/OFF時のショック音 ○アンプの過大入力(過出力)
  - アンプの高音の上げすぎ(音質調節) ○FM放送の局間ノイズや高域周波数成分を多く含んだ連続音
- 入力切換スイッチの設定をロー(LOW)側で使用される場合は、定格20W以下のアンプをご使用の場合でも、アンプの入力が大きすぎたり、ボリュームを上げすぎたりしますと、アンプの出力がはずんで、スピーカー破損の原因になることがありますので、アンプの入力感度や出力には充分ご注意ください。特に大出力アンプで使用される場合は、過大入力加わらないよう、アンプのボリュームにご注意ください。
- アンプのトーンコントロールやラウドネス、あるいはグラフィックイコライザーを使って低音や高音のレベルを上げてご使用の場合は、通常より大きなパワーがスピーカーに加わりますので、アンプのボリュームにご注意ください。

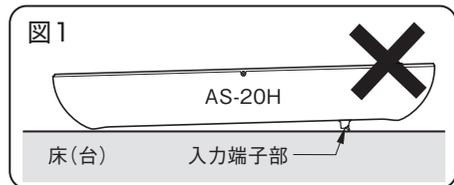
## 設置上のご注意

- 直射日光や雨などがあたるところ、また湿気の多いところでのご使用は避けてください。
- 本機を天井や壁面などに取付ける場合は、スピーカーの重量に充分に耐えられる場所または、補強を施した場所へ設置してください。また、取付金具からの共振、異常音がないか充分確認してください。

尚、取付場所の強度不十分、取付方法の不備による事故に対する一切の責任は負いかねます。

## 本機を置くときのご注意

- 本機を入力端子部のある後面側を下にして床や台などの上に置かないでください。誤って上から押すと入力端子部が破損することがあります。火災や感電の原因になりますのでご注意ください。(図1参照)



## 接続上のご注意

- アンプに接続する際、必ずアンプの電源をOFFにしてください。電源を入れたまま接続しますと、スピーカーが破損することがあります。
- スピーカーとアンプの極性を必ず合わせてください。
- 入力切換スイッチをローインピーダンス(LOW)側に設定しますと、入力インピーダンスは8Ωです。出力負荷インピーダンス8Ω駆動が可能なアンプに接続してください。
- 入力切換スイッチをハイインピーダンス(HIGH)側に設定しますと入力インピーダンスは500Ω(20W)、670Ω(15W)、1kΩ(10W)です。接続するアンプの出力インピーダンスを確認してください。

## スピーカー保護回路について

- 本機には、連続的な過大入力からスピーカーを守るため、保護回路が組込まれています。
- 使用中に音量が急に小さくなった場合には保護回路が動作しています。速やかにアンプのボリュームを下げて自動復帰したのち、音量を前より少し下げてください。

# 接続方法

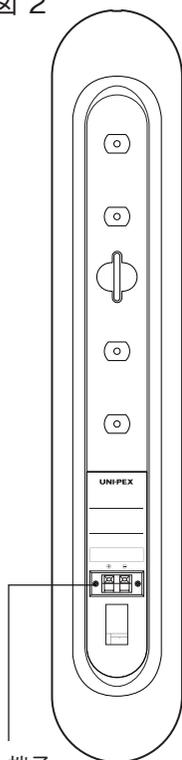
## ■入カインピーダンスの切り換えについて



出荷時の設定はハイインピーダンス100系1k $\Omega$ (10W)です。  
接続前に必ず、接続するアンプに合った入カインピーダンスに切り換えてください。  
故障・破損の原因となることがあります。

- 本機の入力端子(プッシュターミナル)は、ローインピーダンス8 $\Omega$ (20W)とハイインピーダンス100系 500 $\Omega$ (20W)、670 $\Omega$ (15W)、1k $\Omega$ (10W)兼用です。(図2参照)
- 入カインピーダンスは前面エンブレム下部の入カインピーダンス切換スイッチで切り換えてください。ローインピーダンス8 $\Omega$ (20W)とハイインピーダンス100系 500 $\Omega$ (20W)、670 $\Omega$ (15W)、1k $\Omega$ (10W)に切り換えることができます。必ず、接続するアンプに合ったインピーダンスに切り換えてください。(図2、3参照)
- 入カインピーダンスを変更する場合は前面ネットとスイッチのカバーを取りはずして、入カインピーダンス切換スイッチを切り換えてください。(図3、4、5、6、7、8、9参照)

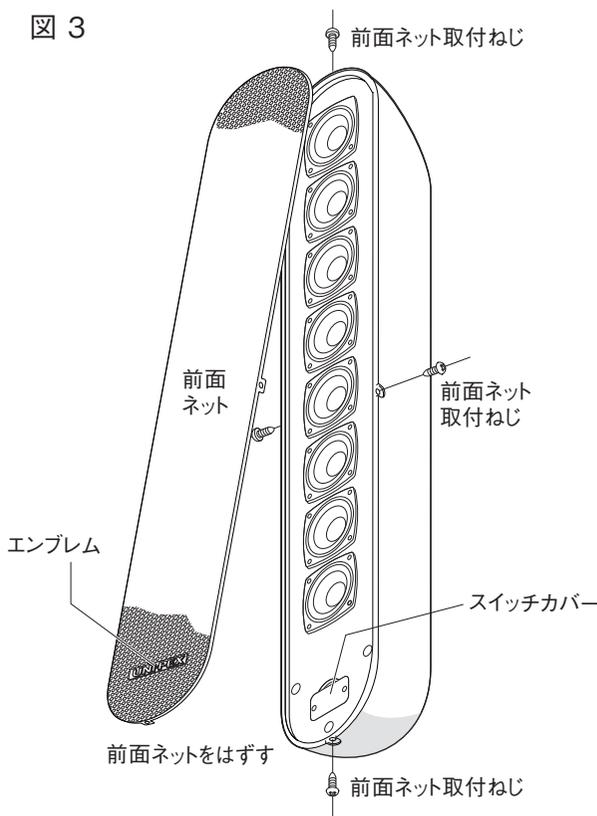
図 2



入力端子  
(プッシュターミナル)

①前面ネット取付ねじ4本をはずし、前面ネットをはずす

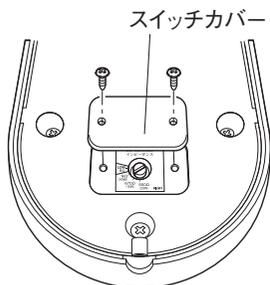
図 3



# 接続方法

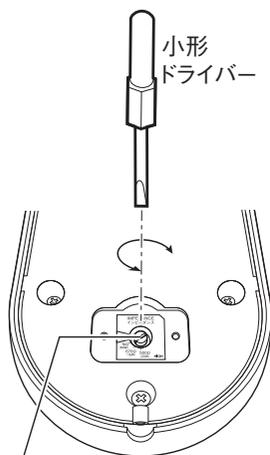
②スイッチカバーをはずす

図 4

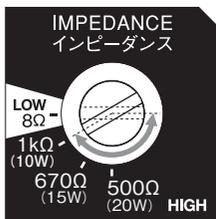


③スイッチを切り換える

図 5



入力インピーダンス切換スイッチ



# 接続方法

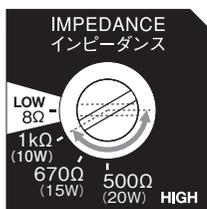
## ■入カインピーダンスの切換方法

### ハイインピーダンス100系の場合

#### 1k $\Omega$ (10W)

出荷時の設定は1k $\Omega$ (10W)位置です。

図 6



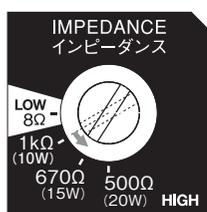
#### ■ご注意

スイッチの回転可能範囲は1k $\Omega$ (10W)位置より左方向に150°以内です。  
スイッチを回転可能範囲外に無理にまわさないでください。スイッチが破損する原因となります。

#### 670 $\Omega$ (15W)

1k $\Omega$ (10W)位置より670 $\Omega$ (15W)に設定を切り換える場合は左方向に30°まわして切り換えてください。

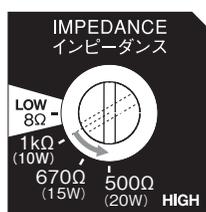
図 7



#### 500 $\Omega$ (20W)

1k $\Omega$ (10W)位置より500 $\Omega$ (20W)に設定を切り換える場合は左方向に60°まわして切り換えてください。

図 8

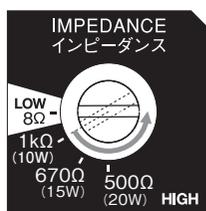


### ローインピーダンスの場合

#### LOW(8 $\Omega$ )

1k $\Omega$ (10W)位置よりLOW(8 $\Omega$ )に設定を切り換える場合は左方向に150°まわして切り換えてください。

図 9



④元どおりにスイッチカバーと前面ネットを取り付けてください。

# 接続方法

## ■入力端子(プッシュターミナル)の接続方法

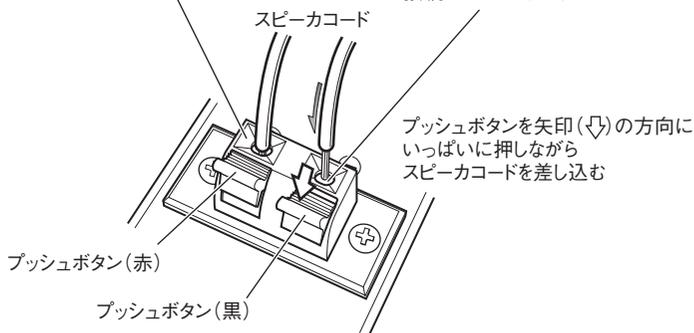
図 10

### プッシュターミナル(赤)

アンプの出力端子⊕側と接続してください。

### プッシュターミナル(黒)

アンプの出力端子 COM(共通)側と接続してください。



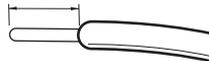
- プッシュボタンをいったいに押しながらスピーカコードを差し込んでください。(図10参照)
- アンプの出力端子COM(共通)側を黒色のプッシュボタンの端子に接続してください。(図10参照)
- アンプの出力負荷インピーダンスを確認の上スピーカコードを赤色のプッシュボタンの端子に接続してください。(図10参照)
- 同じ場所で2個以上のスピーカを使用される場合は、必ず極性を合わせてください。

## ■スピーカコードの末端処理方法

図 11

### スピーカコードの末端処理方法

9~11mm



適合電線:

0.75mm<sup>2</sup>~2.0mm<sup>2</sup>のより線

φ1.0mm、φ1.2mm、φ1.6mmの単線

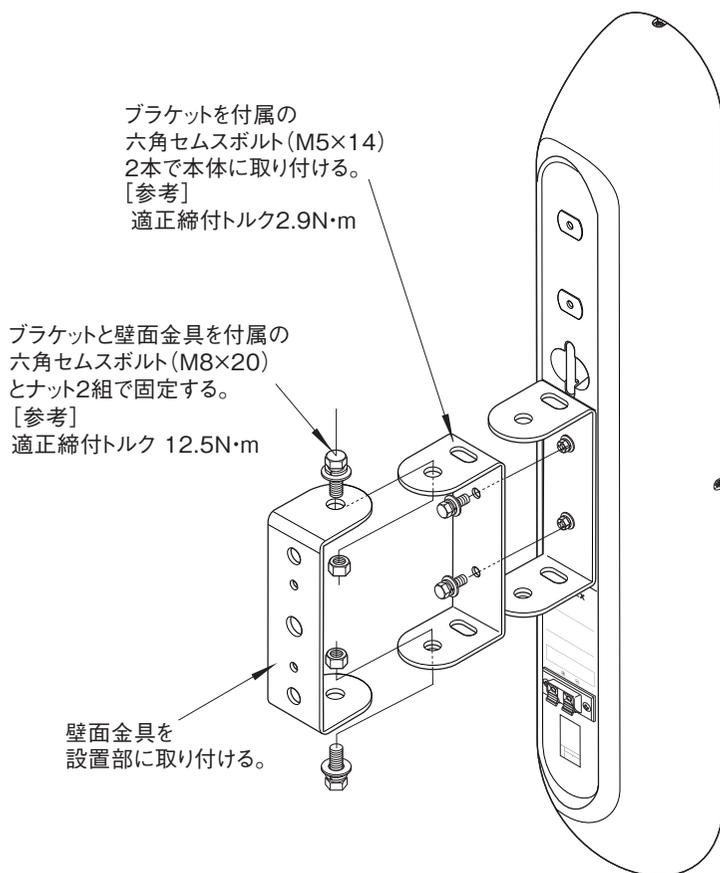
## 設置のしかた

**⚠ 警告** 本機を取り付ける場合は、説明に従って正しく取り付けてください。特にねじ類の締付には充分注意してください。落下によりけがの原因になります。

●本機取り付けに使用するボルトとナットは別途ご用意してください。

●本機に付属のブラケットと壁面金具を図12～15の要領で取り付けてください。

図 12



# 設置のしかた

図 13

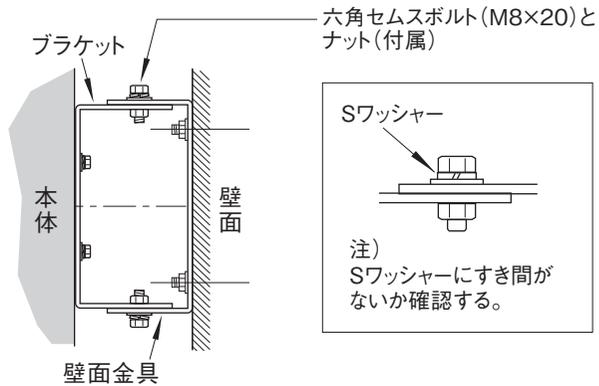
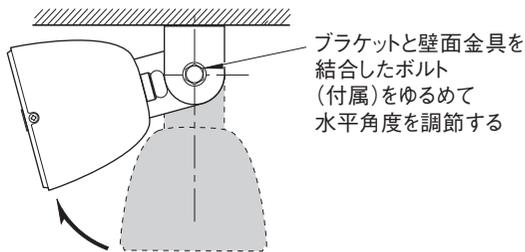


図 14



■角度を調節した後、ブラケットと壁面金具を結合したボルトをトルクレンチで締め付けてください。

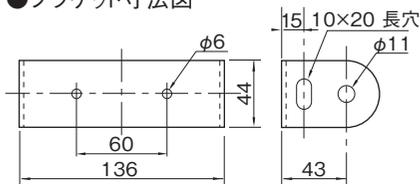
[参考]適正締め付トルク12.5N・m

ご注意....

トルクの調節が難しいインパクトドライバーや電動ドライバーは使用しないでください。スピーカー本体、及びねじ、ボルトの破損の原因になります。

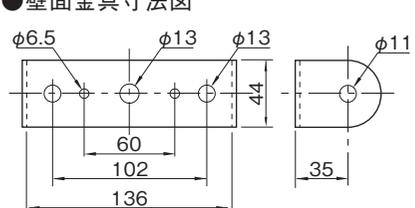
図 15

●ブラケット寸法図



●壁面金具寸法図

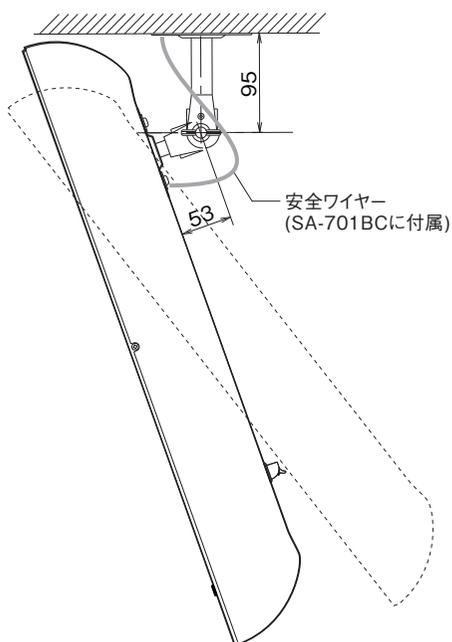
(単位:mm)



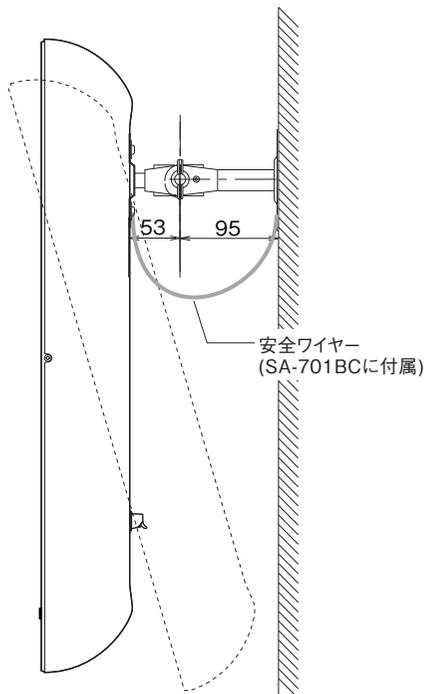
# 別売取付金具

## ■天井・壁面取付金具 SA-701BC

天井取付例



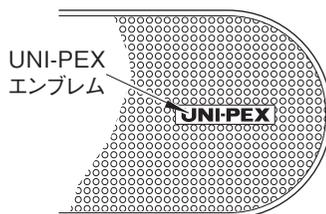
壁面取付例



## UNI-PEXエンブレムについて

- 本機の前面ネットの「UNI-PEXエンブレム」はスピーカーの設置状況に合わせ、回転させて使用することができます。「UNI-PEXエンブレム」の方向を換える場合は下図のように回転させてください。(図16参照)

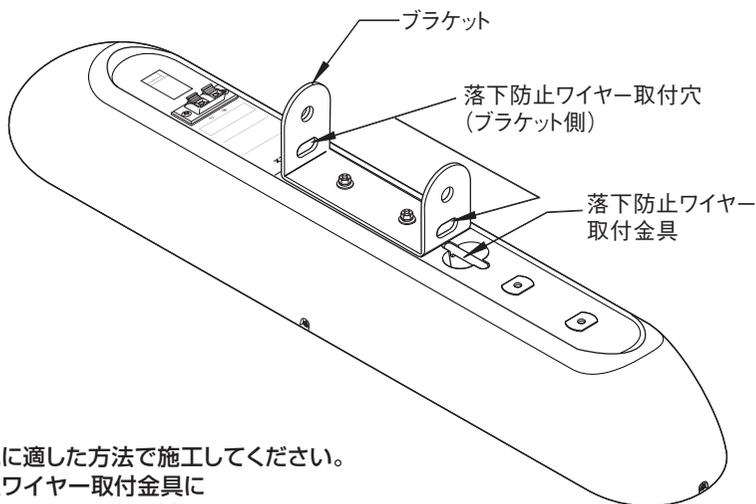
図 16



## 落下防止ワイヤー(別途調達品)について

- スピーカーを長期間取り付けて常設する場合は万一の落下事故防止のため、必ず設置状況に合った落下防止ワイヤー(別途調達)の施工をおこなってください。
- ・落下防止ワイヤーは後面の落下防止ワイヤー取付金具に取り付けてください。ブラケット側にも取付穴を設けていますので設置状況に合わせてご利用ください。(図17参照)
- ・建造物側には万一の落下時の重量に充分耐えうる強度のある所に落下防止ワイヤーを確実に取り付けてください。強度が足りませんと、落下し、けがや事故の原因となります。ねじを締めるときはスプリングワッシャーやネジロック(Loctite®242など)などの緩み止めを使用することをおすすめします。
- 落下防止ワイヤーの選択及び施工については、専門の技術者などにご相談ください。

図 17 ■落下防止ワイヤー取付金具



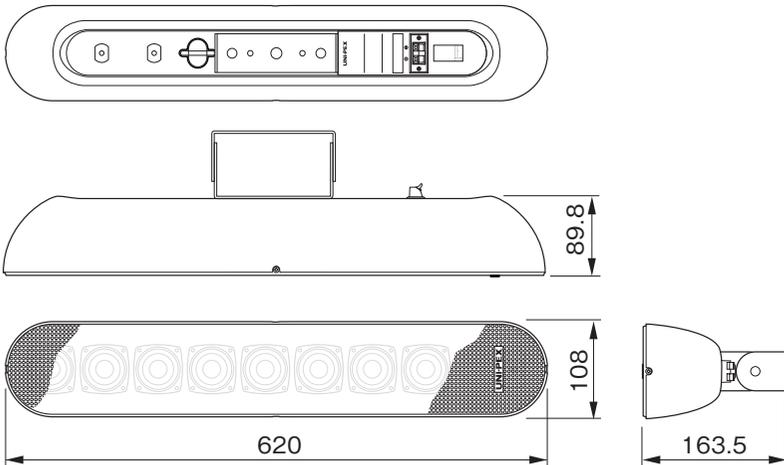
設置状況に適した方法で施工してください。  
落下防止ワイヤー取付金具に  
落下防止ワイヤーを取り付け、  
ブラケット側の落下防止ワイヤー取付穴に  
ワイヤーを通すことをお勧めします。

# 定格

品番	AS-20H
定格入力	20W(RMS/JIS C5532)
インピーダンス 及び非常用種別	[ローインピーダンス]:8Ω(20W) [ハイインピーダンス100系]:500Ω(20W)、670Ω(15W)、1kΩ(10W)
音響パワーレベル	p=91dB(1W)
指向特性区分	X
出力音圧レベル	92dB(1W/1mにて)
再生周波数帯域	180Hz~20kHz
指向角度	水平140°×垂直35°(at 2kHz 縦長設置時)
入力機構	2Pプッシュターミナル
使用スピーカー	φ5cm コーンスピーカー 8個
寸法	幅 620mm 高さ108mm 奥行 89.8mm
外装	パンチングネット:(SUS316)マンセルN1.5 近似色 黒(ポリウレタン粉体塗装) バツフル:(ASA)マンセルN1.5 近似色 黒 本体:(ASA)マンセルN1.5 近似色 黒(ウレタン塗装) ブラケット・壁面金具:(SUS316)マンセルN1.5 近似色 黒(ポリウレタン粉体塗装)
質量	約3.5kg
適用規格	非常用放送設備適合品(ハイインピーダンス100系のみ)
付属品	取扱説明書(保証書付)1、ブラケット 1、壁面金具 1、六角セムスボルト(M8×20)2、ナット(M8用)2、六角セムスボルト(M5×14)2
専用品(別売)	天井・壁面取付金具 SA-701BC

本書に記載の専用品につきましては予告なく廃番または新製品に切り換えることがあります。

## 外観寸法図 (単位:mm)



## サポートのご案内

- 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

- 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ  
もしくはQRコードに  
アクセスしてください。  
<http://www.unipex.co.jp>



- その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

**UNI-PEX** お客様ご相談センター

**0120-56-5245** (通話料無料)

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、

**072-855-3334**（通話料がかかります）

### 【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

# ラインアレイスピーカー AS-20H 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 <b>見本</b> 様
	ご住所 〒 電話( ) -
販売店	店名・住所 電話( ) - 印

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**  
 発売元 **ユニペック株式会社**  
 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)

## 保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

## 無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

## 無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

#KTAS20H-H0-3